



手のひら通信

お問い合わせ
 手のひらに太陽の家
 宮城県登米市登米町寺池
 辺室山17番地1
 0220-23-9755(Tel)
 0220-23-9756(Fax)
 info@taiyounoie.org
 http://taiyounoie.org/



三月三日のひな祭りの日、手のひらに太陽の家には沢山のお雛様、お内裏様が並びました！

そう、ひな寿司作り教室です。

教えて下さったのは地元の遠藤美香さん。毎月季節にちなんだ美味しくて安心・安全なお料理を教えてくださいます。と、いうことで、今月はおひな祭り！ ひな寿司に菱餅寿司、はまぐりの潮汁にわかめの酢味噌がけ、桜餅、みるく甘酒までのフルコース。地元の方も混じり、楽しい料理教室になりました。



出来上がった十組のお雛様とお内裏様。表情も形も

本当にそれぞれで、夫婦の縮図をみているようでした。一番人気はちよっとおどけたお雛様と、それを横で微笑みながらみているお内裏様のペア。こんな夫婦の形が、いつまでもずっと仲睦まじくいられる秘訣なのかもしれませんね。

遠藤さん、ありがとうございました。

(文・佐藤)



三月十一日、あの東日本大震災からまる二年が

経ちました。変わったようでも、被災地から遠い所では、震災の記憶が忘れ去られつつあることが、寂しくも悲しくもありました。そんな中、2年経った今でも被災地、被災者に心を傾け、支援して下さる方々がいます。

二月二十六日、サッポロビール株式会社様が、東北限定販売ビールの売り上げの一部を手のひらに太陽の家の運営資金にと、寄付して下さいました。

手のひらに太陽の家で行われた贈呈式には、サッポロビール株式会社様

東北本部長である小澤直樹様、登米市長の布施孝尚様、そして日本の森パイオニアネットワーク理事長の佐々木豊志が出席し、多くの関係者、マスコミの方々が見守る中、皆様の温かいお気持ち有形となつて手のひらに太陽の家へと贈られました。

先の見えない不安の中で、多くの方々の温かいご支援が、この手のひらに太陽の家、またそのご利用ご家族の皆様を支えてくれていきます。本当に、本当にありがとうございます。これからもどうぞ温かく見守り下さい。宜しくお願い致します。

(文・佐藤)



小さな旅

手のひらに太陽の家から、こんにちは
 ~利用者の方々より~

ペレットストーブの温かさがとても嬉しかったです。部屋の暖房もとても過ごしやすく、温かかったです。一泊でしたが、とても楽しく過ごさせてくださいました。また、お世話

になれたらと思っています。人見知りの多い娘ですが、ひびちゃん(スタッフの娘)がいてくれてとても仲良しになりました。ひびちゃんに感謝です。

(相馬市 女性)

空気が汚れることなく、廃棄するものを上手に利用している話がすごく関心を持ちました(自然エネルギーへの関心が高まった理由に対する回答)。今回は、イベントの参加が突然できなくなり大変残念です。また、機会がありましたら、お世話になりたいと思います。楽しい時間をありがとうございました。

(相馬市 女性)

二月末に那須塩原市といわき市で開催された保養相談会に参加して来ました。この保養相談会は、311受け入れ全国協議会の方々、福島原発事故により放射線量の高い地域に暮らしている方を対象に定期的に開催されているものです。全国で保養や移住の受け入れを行っている様々な団体が集まり、直接、来た方の相談に応じています。

三月の始めには、福島市で行われたキッズデザインカーニバルに参加し、太陽の家の活動を福島の方々へ紹介しに行きました。両イベントとも、手のひらに太陽の家のブースにも多くの人が来られ、その中に放射線量の不安を抱えながら生活する苦悩を、涙を浮かべながら話される方もおりました。改めて保養の必要性を感じることもありました。

(文・菅邊)

4月の予定

4月1日の誕生花は『桜(さくら)』
花言葉は「心之美・純潔・神秘的な心・精神の美しさなどなど」
桜は昔、木之花咲夜耶姫が富士の高嶺より種を蒔いたことで広がったそう。花言葉の通り、神秘的な花ですね。

イベント名	日時	内容
神楽(一般参加可)	2日 19時～20時半	地元の方が登米町の伝統的な神楽を太陽の家で舞って下さることになりました。
香りとスパイス教室 (一般参加可)	13日 午前中	これまでも栄養学やカビについて教えて下さっている竹井先生が香りとスパイスについて教えて下さります。
森のようちえん (一般参加可)	17日 10時～15時	東和町のホテルの里交流館近くの森で春探しです。
フリーマーケット (一般参加可)	21日 未定	太陽の家でフリーマーケットを行います。ぜひご参加下さい。
桜クルージング (かっぱの会主催)	28日 午前中	登米町に流れる北上川を愛するとよま北上川かっぱの会の皆様がクルージングをしてくれます。(※参加費等はかっぱの会にお問い合わせ下さい。)

※イベントへの参加ご希望・参加費につきましては「手のひらに太陽の家」へお問い合わせ下さい。 ☎0220-23-9755

～登米町の漢方屋さん～

漢方商店 くすりのスズリェウ

開所祝いにと太陽の家に薬箱をいただいたのをきっかけに、ラフターヨガや気功、参鶏湯作りなど様々なイベントを行って来ています。ラフターヨガでは子ども達は汗びっしょりになりながら、様々な顔・姿勢で笑いあっていました。時には「太陽の家で食べて下さい。」と、薬膳風蒸しパンや白菜などを届けて下さいます。いつも本当にありがとうございます。

日頃のご支援ご協力、誠にありがとうございます。



ワ

ハ

っ



は



ハ

は

支援団体の紹介

手のひらに太陽の家基金 ～ご支援のお願い～

手のひらに太陽の家では東日本大震災により生活が困難になってしまった家族、特に放射線量の高い地域での生活を強いられている子どもたちを支援します。今も自然の中で存分に遊ぶことも出来ず、心身に大きなストレスを抱えている子どもたちがたくさんいるのが現実です。

7月21日の開所から、のべ100組のご家族に手のひらに太陽の家をご利用いただきました。(平成25年3月20日) 今後、継続して活動を行っていくためには、皆様のご支援が必要です。1人でも多くの子どもたちを笑顔にするために、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【銀行名】 七十七銀行(シチジュウシチギンコウ) 築館(ツキダテ)支店 店コード700

【口座番号】 普通預金 5411882

【口座名義】 手のひらに太陽の家太陽の家基金
理事長 佐々木豊志(ササキトヨシ)

手のひらに太陽の家公式サイトよりクレジットカードでご寄付いただける【オンライン寄付】や、毎月継続してご支援いただける【マンスリースポーター】もあります。

詳しくはHPまで*「手のひらに太陽の家」で検索!